



2009年10月期 決算説明会資料

2009年12月17日(木)
株式会社オハラ(証券コード:5218)

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

◆ 2009年度 決算の概況 P03～09

◆ 2010年度 業績見通し P10～15



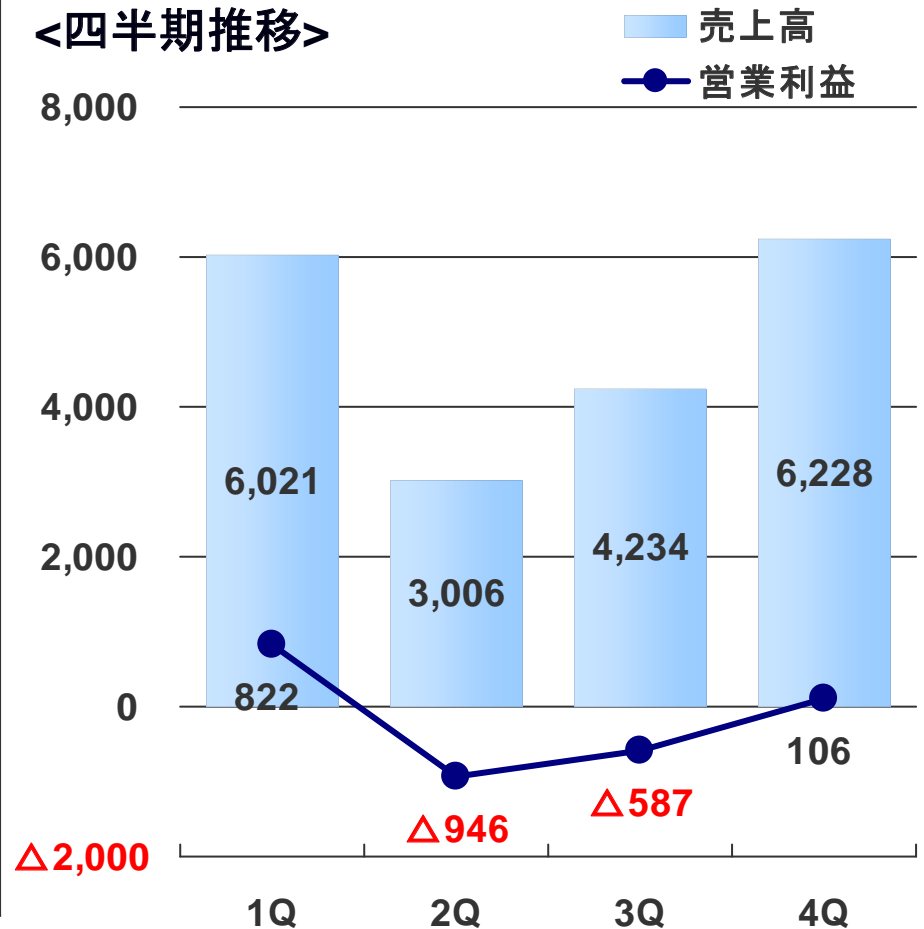
2009年度 決算の概況

業績サマリー

(単位:百万円、%)

	08年度 通期	09年度 通期	増減率 (通期対比)
売上高	30,574	19,490	△36.3%
売上総利益	11,816	4,519	△61.8%
[売上総利益率]	38.6%	23.2%	
営業利益	6,372	△605	-
[営業利益率]	20.8%	-	
経常利益	6,458	△736	-
[経常利益率]	21.1%	-	
純利益	3,915	△1,848	-
[純利益率]	12.8%	-	
為替レート 円/1USD 円/1EUR	106.40 159.15	94.38 128.70	

<四半期推移>



<外部環境>

- ◆ リセッションによる急激な市場の悪化
- ◆ デジタルカメラは春以降低価格品中心に回復
- ◆ HDDもネットブックが牽引し春以降回復

<当社実績>

- ◆ 光事業は、足元で一眼レフ向けの需要が回復基調となるが、年度では大幅に減少
- ◆ エレクトロニクス事業のHD基板材は急回復
- ◆ エレクトロニクス事業の特殊ガラスは産業装置関連需要の減少で低迷

損益増減要因

①売上総利益 前期比△61.8%

- ↓ 全事業の大幅需要減
- ↓ 最終製品の価格下落に伴う販売価格の落ち込み
- ↑ 原価低減活動の推進による生産効率の向上

②営業利益 前期比 - (上記以外の要因)

- ↓ 売上減少に伴う販管費率増 当期26.3%(前期比+3.1P)

③経常利益 前期比 - (上記以外の要因)

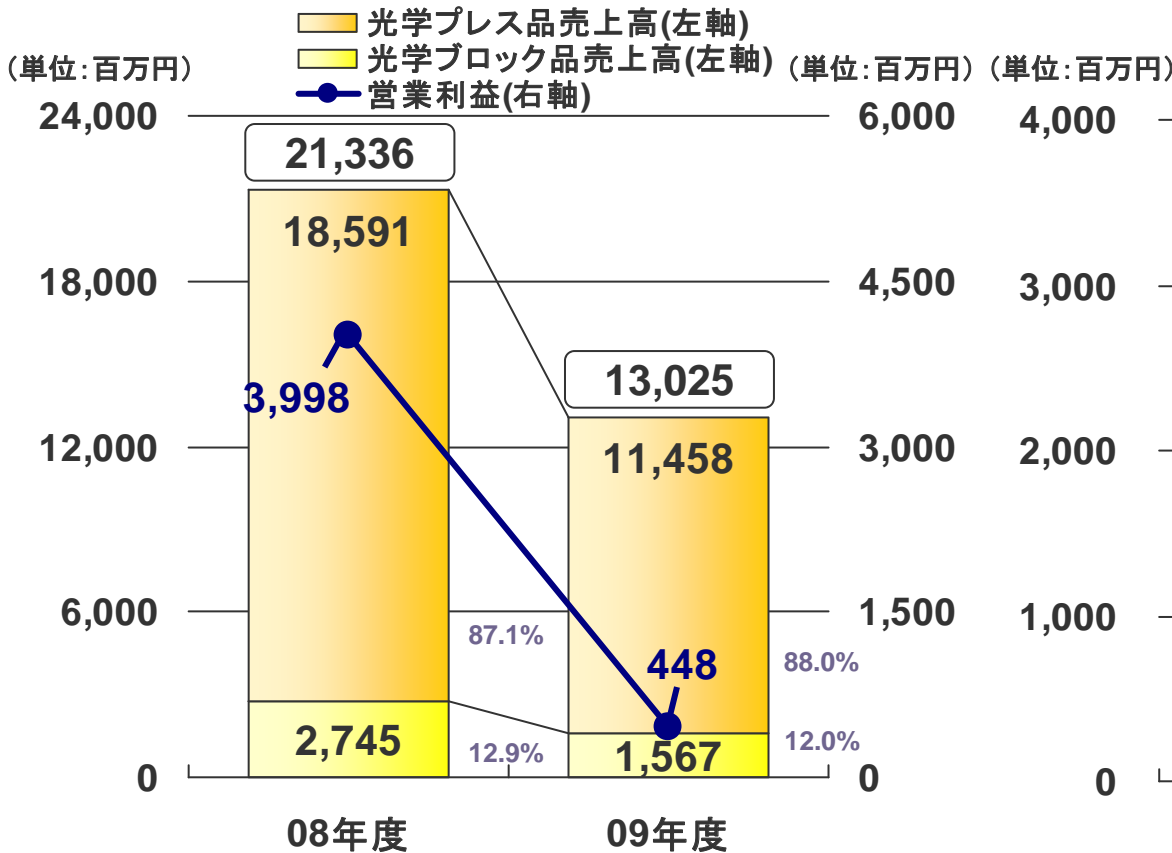
- ↓ 円高による為替差損

④純利益 前期比 - (上記以外の要因)

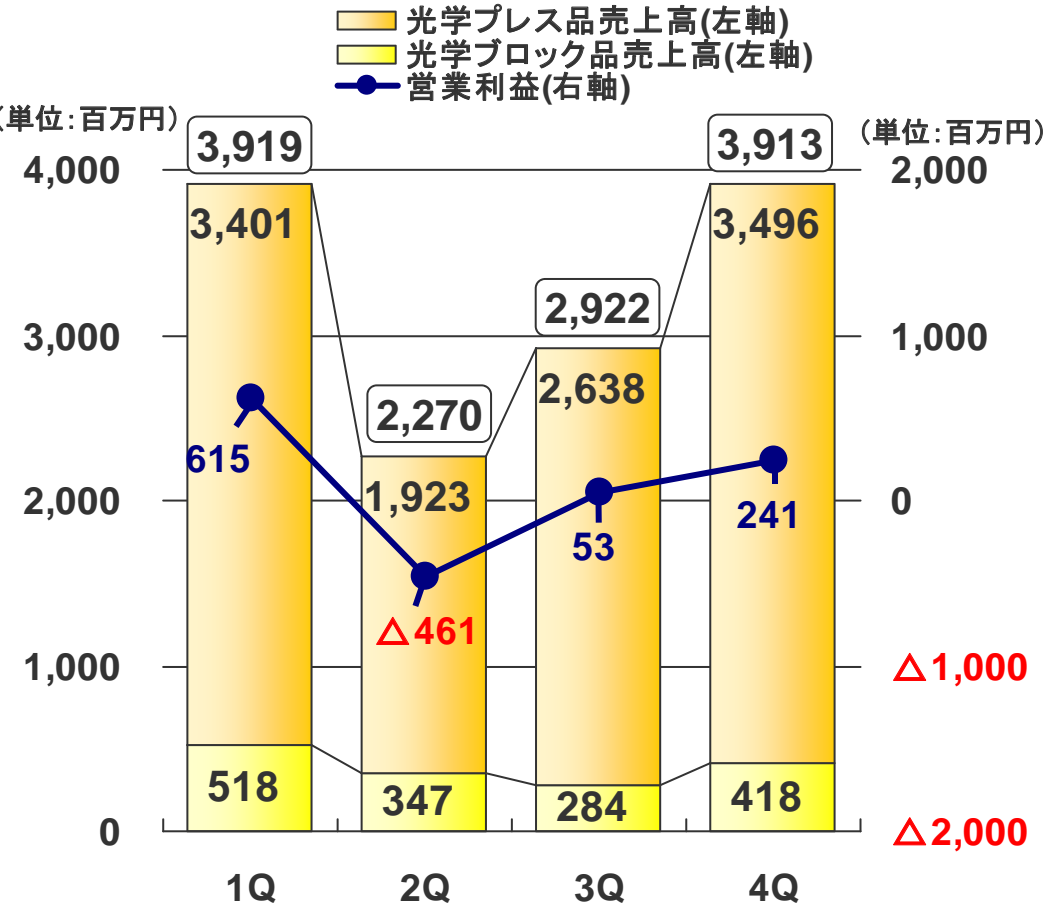
- ↓ 石英事業において特別損失を計上

<通期対比>

※前年度売上高、営業利益は、
現在の新セグメント区分で遡及し再試算しています。

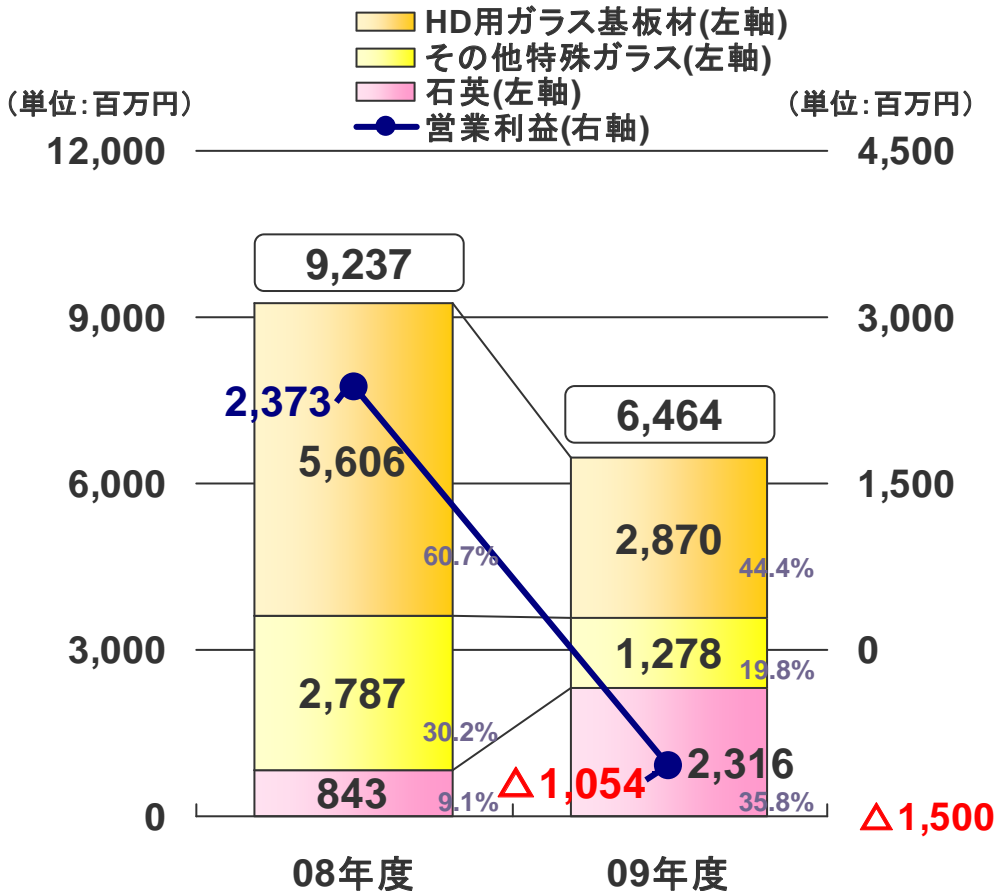


<四半期推移>

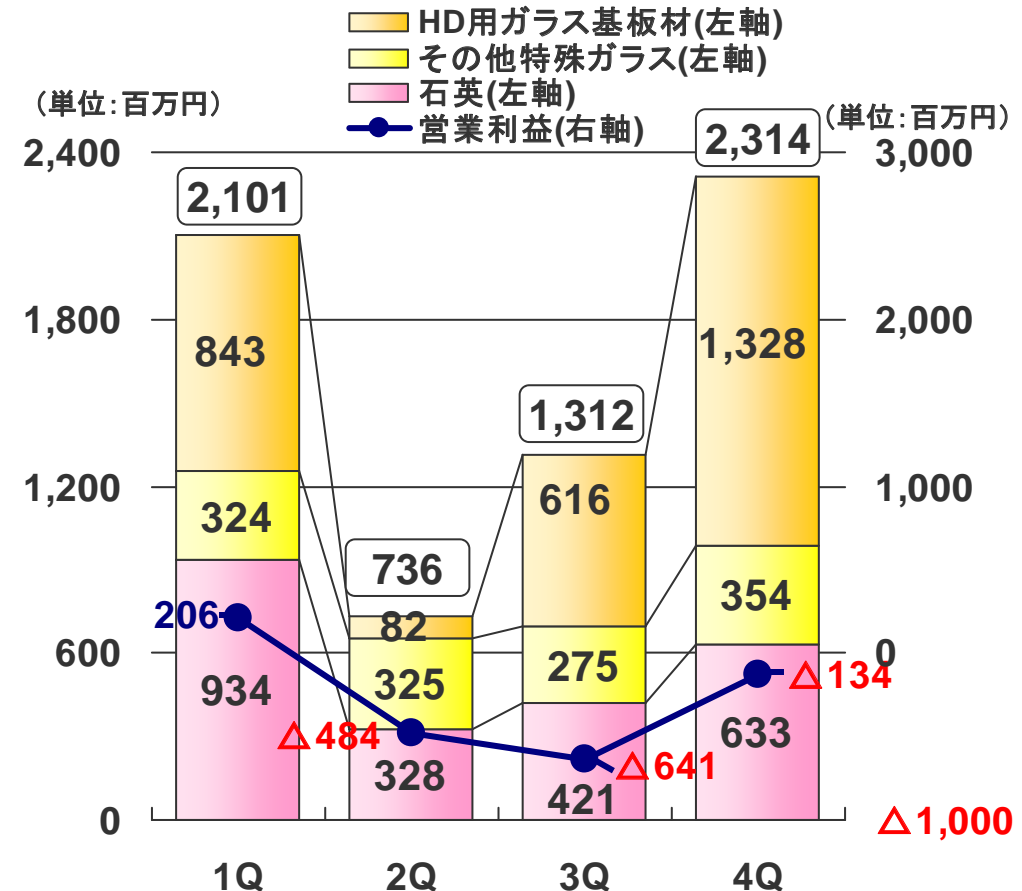


<通期対比>

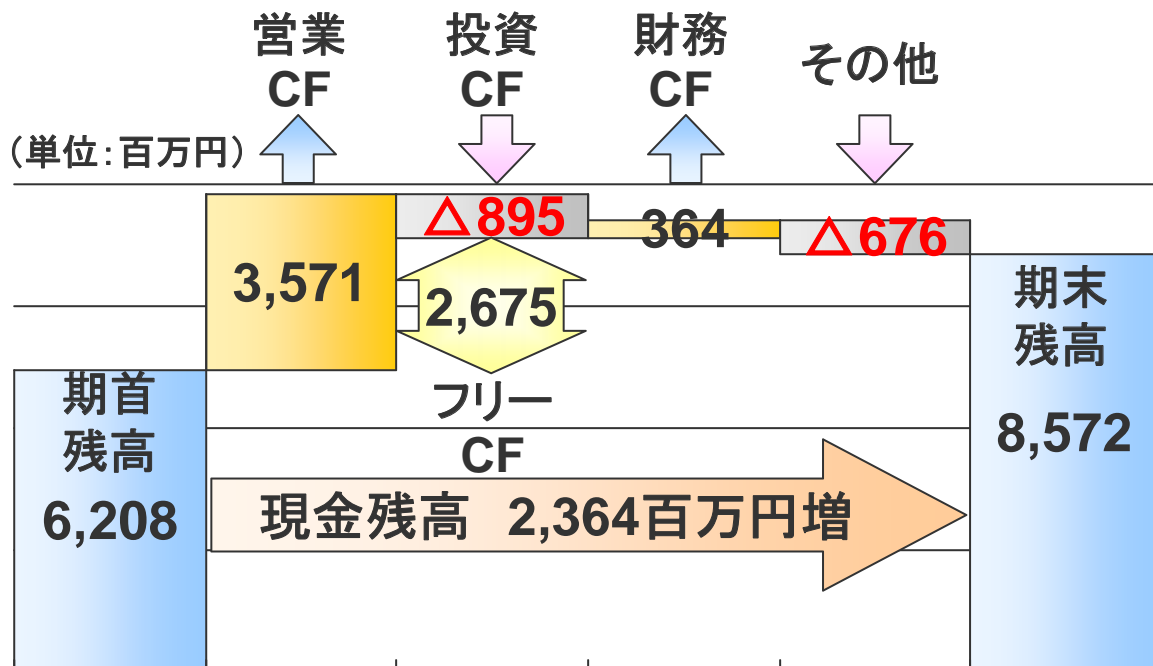
※前年度売上高、営業利益は、
現在の新セグメント区分で遡及し再試算しています。



<四半期推移>



キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

営業CF増減要因 (前期比△23.2%)

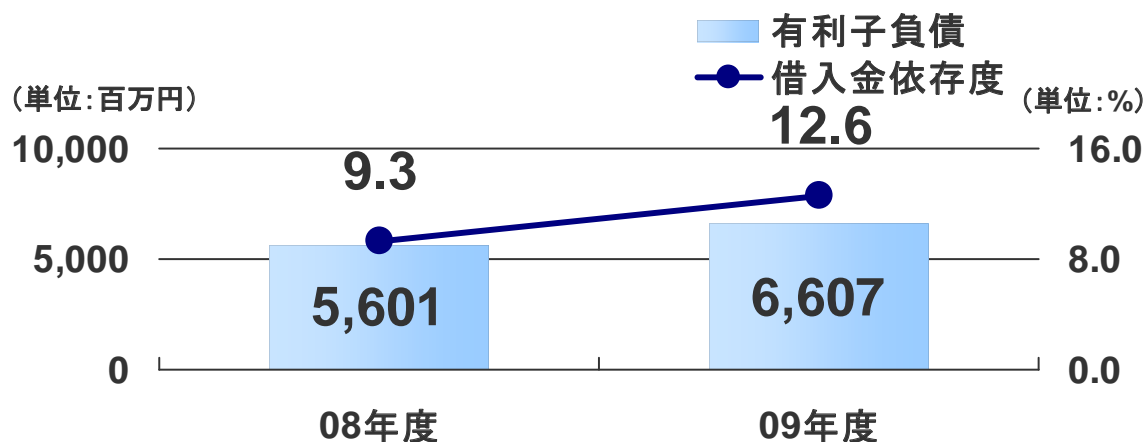
仕入債務減少	△1,830
法人税等支払い	△974
たな卸資産増加	△802
売上債権減少	2,952
減価償却費	1,994

投資CF増減要因 (前期比△79.0%)

有価証券売却	500
有形固定資産取得	△1,753

財務CF増減要因 (前期支出は3,243百万円)

長期借入等による調達	466
------------	-----





2010年度 業績見通し

業績見通しサマリー

(単位:百万円、%)

	09年度 通期実績	10年度 通期予想	増減率
売上高	19,490	25,000	28.3%
売上総利益	4,519	6,600	46.0%
[売上総利益率]	23.2%	23.0%	
営業利益	△605	1,400	-
[営業利益率]	-	5.6%	
経常利益	△736	1,500	-
[経常利益率]	-	6.0%	
純利益	△1,848	900	-
[純利益率]	-	3.6%	
為替レート			
円／1USD	94.38	88.00	
円／1EUR	128.70	130.00	
通期配当予想	15.00	15.00	
円			

<外部環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は回復基調だが、販売価格は一眼レフ、コンパクト問わず下落傾向
- ◆ HD市場は成長を続けるも、価格の下落傾向は続く
- ◆ 半導体生産設備の需要は、回復へ向かう

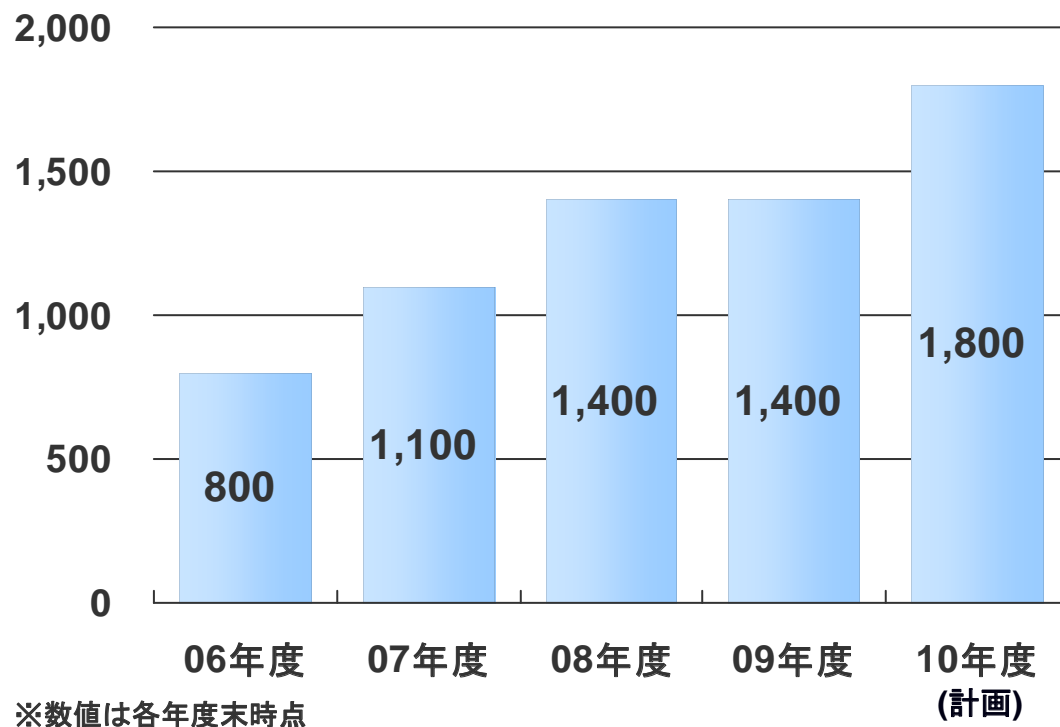
<当社施策>

- ◆ 光学ガラスはOEMの活用でコモディティ化した市場を狙う
- ◆ HD用基板材は速やかな生産能力増強で顧客需要に対応
- ◆ 半導体市場向け製品は滞留在庫があり、回復は来年以降
- ◆ 極低膨張ガラスセラミックスは大型プロジェクト獲得に注力

HD用ガラス基板材の生産能力を3割増強

◆ 2010年10月に月産1,800万枚体制へ(現在は1,400万枚)

<月産生産能力の推移>



マレーシアにある生産拠点 OHARA DISK(M)SDN.BHD.

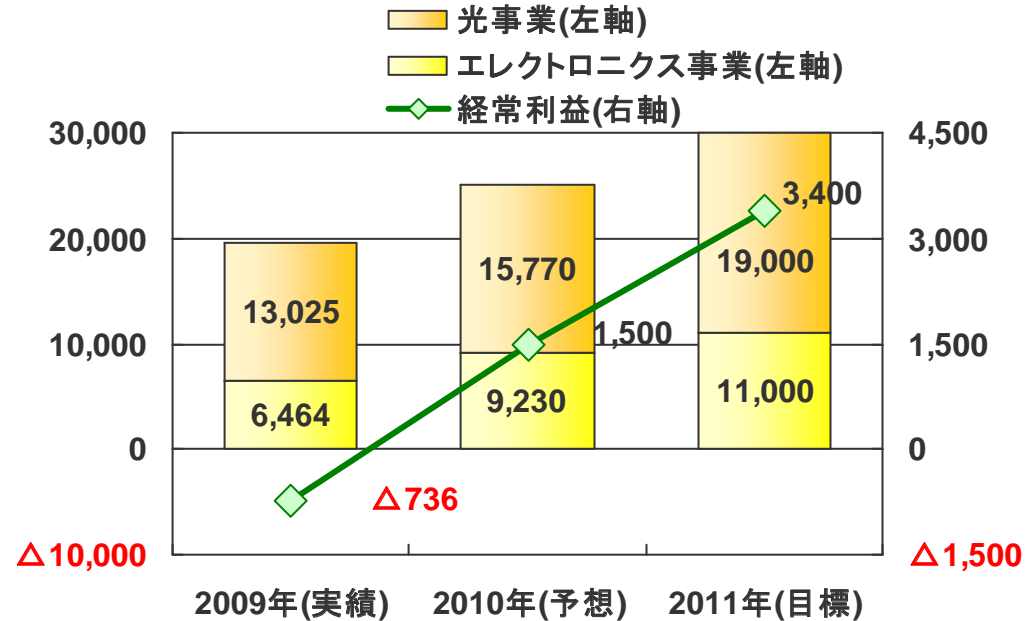
中期経営計画の進捗状況

2011年度の目標値

- 売上高 300億円以上
- 経常利益 34億円以上
- ROA(総資産経常利益率) 5%以上
- 総資産有利子負債率 10%以下

(単位:百万円、%)

	09年度 実績	11年度 目標
売上高	19,490	30,000
経常利益	△736	3,400
ROA 総資産 経常利益率	-	5%
総資産 有利子負債率	13%	10%



(単位:百万円、%)

	09年度 実績	10年度 予想	11年度 目標
売上高	19,490	25,000	30,000
経常利益	△736	1,500	3,400
経常利益率	-	6.0%	11.3%

OHARA®